

1. 事業を始めるまえに

地域協議会の組織や予算、事業の内容などによっては、地域ビジョンに記載した「事業」や「取り組みたいこと」を一度に実現することが難しい場合もあります。

そうしたときは、事業の必要性や緊急性、実現性（取り組みやすさ）などから、地域協議会として実施する順番を決め、複数年をかけて取り組んでいくと良いでしょう。

◆ 「〇〇小学校区」の例

事業の優先順位	必要性	緊急性	実現性	結論
①学区防災訓練の開催	◎	○	◎	〇〇年度はまず「防災訓練」と「安全マップ」、「サロン交流会」を実施することとし、他の事業については、今年度は検討のみにとどめ、次年度以降に事業化します
避難所運営マニュアルの策定	◎	◎	△	
②安全マップの作成	○	◎	◎	
パトロール隊の組織づくり	○	◎	△	
③高齢者サロン交流会の開催	○	△	◎	
おたすけ隊の推進	◎	○	△	

順番を付けづらい場合は、暮らしに身近な「防犯」や「防災」から考えると良いでしょう。(P.15)

実施する事業が決まったら、その詳細を詰めていきましょう。

「いつ（日時）」「どこで（場所）」「何を（内容）」「誰が（役割分担）」「何のために（目的）」「どうやって（手段：費用、準備、広報など）」実施するのかなどを検討し、整理した企画書を作成しておくことでスムーズに事業の準備を進めることができます。

◆ 「□□小学校区の企画書（ウォーキング大会）」の例

□□小学校区ウォーキング大会 企画書

1. いつ（日時）

〇〇年〇〇月〇〇日（〇曜日） 10時～

※集合：9時30分

2. どこで（場所）

- ・集合：〇〇小学校 グラウンド前
- ・中継：〇〇公園
- ・ゴール：〇〇ふれあいの森

3. 何を（内容）

- ・〇〇ふれあいの森までのウォーキング
- ・〇〇ふれあいの森内での散策、自然観察

4. 誰が（役割分担）

- ・先導：〇〇、〇〇、〇〇 ・最後尾：〇〇、〇〇、〇〇
- ・危険個所の見守り：〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇
- ・医療係：〇〇、〇〇 ・記録係：〇〇、〇〇

5. 何のために（目的）

- ・日常的にウォーキングを行う“きっかけづくり”
- ・参加者同士の交流と自然観察を通したリフレッシュ

6. どうやって（手段）

- ・保健センターより準備運動と正しい歩き方を指導
- ・借用するもの：誘導棒（〇〇区より）、無線機（市役所より）
準備体操 CD/プレイヤー、救急箱（保健センターより）
- ・購入するもの（予算：〇〇円）

食糧費	〇〇円（飲み物：〇〇箱）
消耗品費	〇〇円（記念品：〇〇個、画用紙：〇〇枚）
印刷費	〇〇円（回覧チラシ：〇〇枚）
手数料	〇〇円
保険料	〇〇円（イベント保険）

2. 事業が終わったあとは

実施事業が終わったら、必ず、実施した事業の評価を行うための振り返りの場や反省の機会をもつようにしましょう。

「事業の目的は達成されたか」「役割分担は適切だったか」、「不足したものはなかったか」、「経費は適切に使われたか」、「効果的な広報がされたか」などの項目を確認しておくことで、次回以降、より効果的な事業に改善することができます。

◆ 「□□小学校区 ウォーキング大会」の例

□□小学校区ウォーキング大会 振り返り書

○月○日（○）反省会での意見まとめ

「日時」は 適切だったか	<ul style="list-style-type: none"> ・気候も良くウォーキング、自然観察日和だった ・中学校のテスト期間が近かったため、次回は配慮することを検討しては
「場所」は 適切だったか	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者アンケート調査では、コースの「距離」について9割以上の方から「ちょうど良い」と回答いただいた ・一部舗装されていない道があり、ベビーカー同伴で参加された方が歩きづらそうだったことから、次回はコース設定時にそうした道がある場合は事前周知しておく
「内容」は 適切だったか	<ul style="list-style-type: none"> ・ケガやトラブルもなく、参加者全員が無事に完歩することができた ・予想以上に多くの方に参加、交流いただけて良かった ・子どもの参加が少なかったため、子ども用のレクリエーションや参加賞の用意なども検討する
「役割分担」は 適切だったか	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が予定より多かったので、次回は2グループに分け、先導と最後尾は2×2名を増やす
「目的」は 達成されたか	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者へのアンケート調査では、9割以上の方から「満足」との回答をいただいた
「手段」は 適切だったか	<ul style="list-style-type: none"> ・誘導棒と掲示物は次回以降、今回のものを使いまわすことで費用を抑えて実施する ・子どもの参加を増やすために、回覧とは別に、学校から子どもたちにチラシを配布してもらうよう調整する

事業参加者に対して、当日に簡単なアンケート調査を行うことも有効な手段です。

事業の良かった点や改善すべき点などについて、企画側からは気づきにくいところを指摘してもらえただけでなく、アンケートを通して新たに協力者を募ることもできます。

◆アンケート項目の例

Q1. 日常的にウォーキングを行われていますか？

- ①ほぼ毎日 ②週2～4回程度 ③週1回未満

Q2. 今回のウォーキング大会はいかがでしたか？（該当するものすべてに○）

- ①楽しくウォーキングをすることができた
②運動や健康づくりを意識するきっかけになった
③参加者同士の会話や交流が楽しめた
④〇〇の豊かな自然を感じることもできた

Q3. コースの長さ（距離、時間）はいかがでしたか？

- ①長かった ②ちょうど良かった ③短かった

Q4. 平日と休日、どちらが参加しやすいですか？

- ①平日 ②休日 ③どちらでも良い

Q5. 今後もウォーキング大会を開催して欲しいと思いますか？

- ①毎年開催して欲しい ②年2～3回開催してほしい
③隔年くらいが良い ④今回限りで良い

Q6. 実施時期（季節）はいつ頃が適切だと思いますか？

- ①春（3～5月頃） ②夏（6～8月頃）
③秋（9～11月頃） ④冬（12月～2月頃）

Q7. ウォーキングコースの提案などありましたら、簡単に記載してください。